

さがえ屋通信

お客様とのお縁を紡ぐおせんべい

弥生
2020.3.2

煎餅工房さがえ屋
通販事業部
山形県寒河江市
中央工業団地116
TEL:0120-38-3324
FAX:0120-05-3324

この景色と 一期一会



ネット店青柳のカメラ片手にご近所旅

見たことありますか？ 虹のあしもと

虹の足元には宝があるという言い伝えがあります。そう思ってしまうようなきれいな景色。雄大な葉山を軽く囲んでしまう程の大きな虹。写真では見づらいのですが虹の足元も見えました。以前近くの里山ですぐ近くに虹の足元を見たことがあります。とても綺麗でもう一回見てみたい！ずっと思っていました。

雨の後の晴れ間！これはもしかしたらと車に飛び乗り、見渡しの良い広場に行きました。あの里山の虹ほど近くではありませんが、虹の足元までしっかり見ることができました。雄大な景色に思わずシャッターを切り続けました。

大切にしたい

素敵な出会い

写真を撮っていてよく感じるのはその風景とは常に一期一会。この一瞬を逃すと一生出会えない風景があると感じます。失敗することも沢山あるのですが、思いがけない素敵な出会いが写真撮影の魅力だと思います。

お客様との出会いも私にとってとても素敵な出会いです。お煎餅を縁に全国のお客様と出会うことができます。ご迷惑をお掛けしてしまうこともあります。お客様の嬉しい一言が何よりもうれしく励みになります。出会いのひとつひとつを大切にしたいです。お客様の笑顔が好きだから。

寒河江川桜並木



春はピクニックに出かけましょう

お日様の光を浴び、花々の美しさに見とれてしまう。春はまさにピクニックにピッタリの季節です。ちよっとしたランチをバッグに入れて、水筒には温かい紅茶などいかがでしょうか？レジャーシートを広げて鳥のさえずりを聞きながらのんびりしたり、自然の中を散策するのもとても楽しいですね。寒河江川の堤防沿いに広がる桜並木は全長およそ2.8キロメートル。月山や葉山、朝日連峰がきれいに見えます。運動不足の私にはとてもよい散歩コースとなります。あゝ桜が待ち遠しい！醤油やめたの団子が食べたいよ！

そば処 大石田

ネット店青柳のカメラ片手にご近所旅
2020年2月16日 山形県 大石田町

最上川舟運で栄えた

大石田町

かつて最上川の舟運で栄えた山形県大石田町。上流には基点、集、三ヶ瀬の最上川三大難所があるために、大石田で荷物の積み替えを行い、陸路、水路での物資輸送の起点となりました。旧家には蔵や江戸時代のお雛様などがあり、舟運で栄えた名残をとどめています。

豊かな水と寒暖の差が

育んだそば文化

大石田は豊かな水、そして夏と冬、昼と夜の寒暖の差があり、そばの栽培に適した町です。玄そばの生産量は県内でもトップクラス。昔は焼畑は男の仕事、そば打ちは女の仕事として各家庭でそば打ちをしていました。人が集まれば、そばを振舞う。そのおもてなしの心が美味いおそばを育み、そば街道といわれるほど名店が連なる町になったのです。

うまい！

思わずうなる味わい

挽きたて、打ちたて、茹でたての三拍子揃ったそばはとても綺麗。ズズズとすると思わず「うまい！」口の中にそばの香りとつゆの旨みが広がります。わざびをそばにつけてそばをすすする一最高です。試しにすすらずに手繰って食べてみました。すすった方が香りが広がり明らかにうまい！漬物も優しい味付けでそばにあいます。一緒に行った両親も喜んでくれます。ちよっと親孝行のご近所旅でした。

今年も暖冬で

白鳥も拍子抜け？

この時期田んぼは雪に覆われていますが、今年はずりが違います。暖冬の影響で雪がまったくありません。

白鳥もたんぼの中で落穂拾いに夢中です。3月にはシベリアに向かい旅立ちますが、今年はずり存分餌を食べて元気に旅立って欲しいですね。

2020年2月16日 山形県河北町にて



ネット店青柳のあとがきに代えて
奥さんが目をまん丸にしてテレビを見ています。少年の様な純粋なまん丸な目。我が家ではオリンピックを前にしてテレビを買いました。当初テレビに興味を示さなかった奥さんなのですが、大好きな動物の番組がはじまるとたん、目がまん丸になったのです。番組名は「大冒険！清流の抱きつきガエル」カエルや蛇には目がないうちの奥さん！大画面で映し出されるカエルを見て「かわいい(；▽；)！」その感覚に疑問を抱きつつ、奥さんが喜んでる姿に、ほのぼのとしたしあわせを感じました。